

「中学生地域医療現場体験」を実施しました

7月27日(月)、今年度の「中学生地域医療現場体験」を実施しました。この事業は、島根県の主催により各医療機関が受け入れて実施するもので、地域の医療現場の体験を通して地域医療従事者を目指す中学生の育成を図るものです。今年は出雲市内外から20名の参加があり、手術部・リハビリテーション部の見学や内視鏡手術トレーニングの体験などを行いました。体験終了後には「人の命を助ける仕事は素晴らしいと思った。」などの感想が聞かれました。



佐倉手術部長の説明を聞く参加者

「高校生手術部体験学習」を開催しました

7月30日(木)、「高校生手術部体験学習」を開催しました。手術部を公開し、手術の現場を体験することで医療従事者を志す人材を増やす目的で、県内の高校生を対象に毎年行っています。今年は15名が参加し、①手術見学、②縫合手技、③腹腔鏡手術シミュレーション、④臨床工学技士業務見学の各プログラムを体験しました。終了後には「医療への関心が深まった。」「縫合や内視鏡の難しさを実感した。」などの感想が寄せられました。



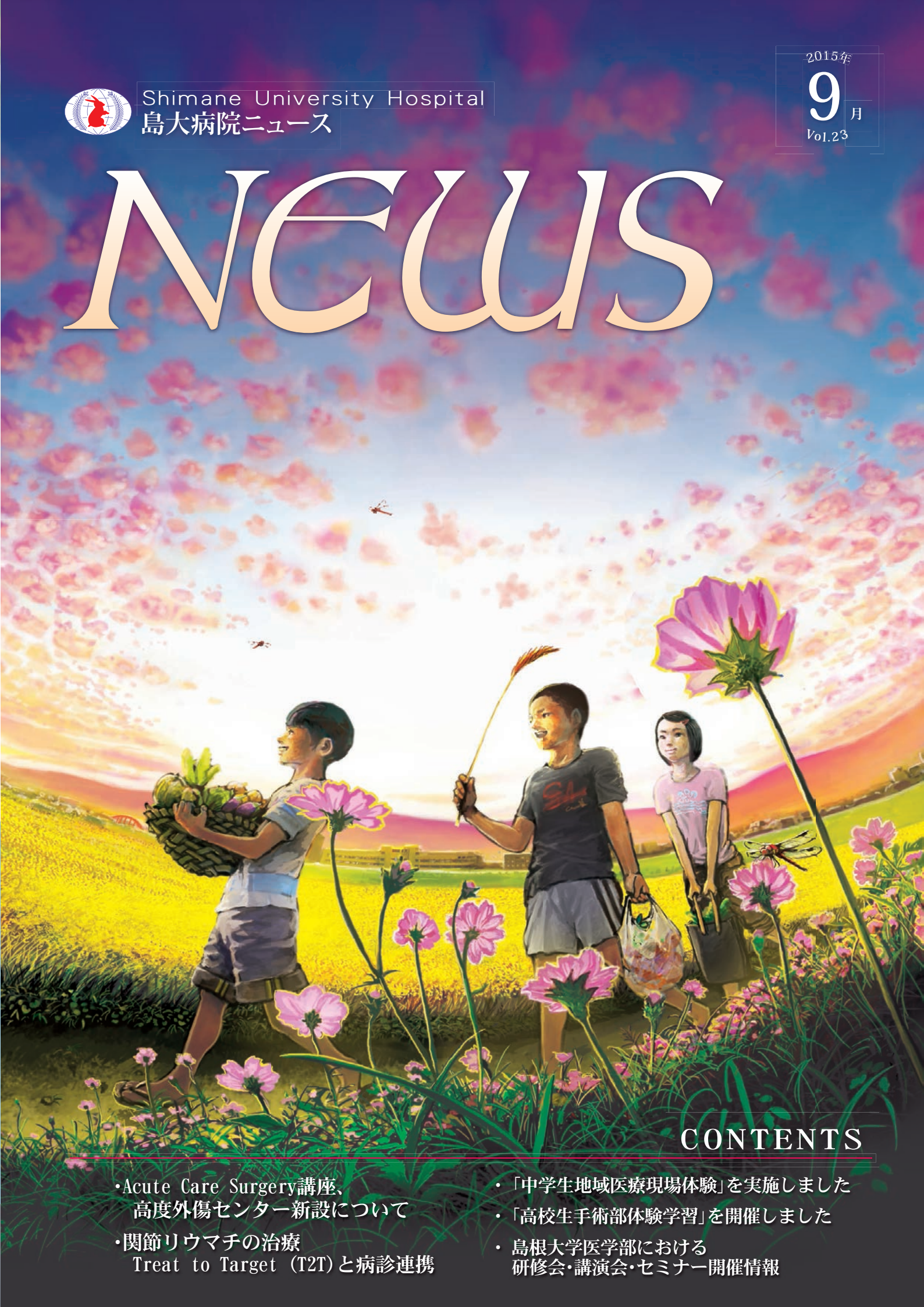
矢野准教授の指導による縫合実習

島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

9月15日～10月15日		対象者： 一般 一般市民 医療 医療関係者 本学 本学教職員・学生		
開催日	時間	場所(★印 学外開催)	対象者	開催名
9/15(火)	9:30～11:30	外来・中央診療棟3階 カフェテリアムだんだん	一般	平成27年度 島根県がんビ・アサボーター相談会
9/16(水)	17:30～19:00	外来・中央診療棟2階 クリニカル・アサボーター センター	看護師 助産師 (2年目以降)	第5回 急変時対応セミナー
9/17(木)	18:00～19:00	外来・中央診療棟2階 クリニカル・アサボーター センター	医療 本学	やさしいモニター心電図
9/24(木)	18:00～19:00	臨床講義棟2階 大講義室	医療 本学	第2回医療安全のための研修会
9/26(土)	14:00～16:00	外来・中央診療棟3階 カフェテリアムだんだん	一般	社会保険労務士によるがん患者さんの就労相談会
9/27(日)	13:30～15:30	★出雲市民会館	一般	第5回市民公開講座 慢性腎臓病院(CKD) 対策
9/28(月)	15:00～16:00	外来・中央診療棟3階 カフェテリアムだんだん	一般	誰でも参加できる糖尿病教室 「目からうろこ!」目について眼科医に聞こう 「日本の秋、食欲の秋～秋の味覚を上手に楽しもう～」
10/15(木)	9:30～11:30	外来・中央診療棟3階 カフェテリアムだんだん	一般	平成27年度 島根県がんビ・アサボーター相談会

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。

NEWS



CONTENTS

- ・Acute Care Surgery講座、高度外傷センター新設について
- ・関節リウマチの治療 Treat to Target (T2T)と病診連携
- ・「中学生地域医療現場体験」を実施しました
- ・「高校生手術部体験学習」を開催しました
- ・島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

日本初

Acute Care Surgery講座、高度外傷センター新設について

いがわ みきお
病院長 井川 幹夫

外傷患者さんに対して早期に適切な医療が実施されていれば防ぐことができたと考えられる Preventable Trauma Death (PTD) と、これより圧倒的に多いと推測される Preventable Trauma Disability (こちらも PTD) が救急医療では問題視され、島根県においては死に至る可能性が高い重症外傷には十分な外傷診療が提供されているとはいえない現状にあります。厚生労働省の報告によると、島根県の不慮の事故死亡率(平成 25 年、人口 10 万人当たり)は全国ワースト7で、不慮の事故死には明らかに地域差があり、事故死亡率は大都市圏で低く、地方で高い傾向が認められ(図1)、これは外傷救急医療体制の整備状況の差を反映していると考えられます。島根県の交通事故発生件数が少ないことはよく知られていますが、交通事故 1 件当たりの死亡率は全国平均の約 4 倍で、島根県では交通事故による Preventable Trauma Death の頻度が高いと推測され、全県を対象とした外傷救急のハイボリュームセンターの設置が必要と考えられます。

今年度、医学部の臨床系に「外傷外科」、「救急外科」、「外科的集中治療」の3領域を統合した日本初の Acute Care Surgery 講座を設置し、来年度当初から高度外傷センターが稼働を開始します。平成 29 年度には救急初期治療、緊急 CT、緊急血管造影(+IVR)、緊急手術を同時に実施できるハイブリッド ER を有する建物が救命救急センターの隣に竣工し、高度外傷センターが本格稼働の予定です。高度外傷センターの設置は、本格的な外傷救急教育と高度な外傷外科診療の展開を通じて全国から若手外科医および救急医を集めることが可能となるなど人材確保にも有効で、さらに島根県の救急医療水準の劇的な向上に繋がることから Preventable Trauma Death の減少が期待されます(図2)。特に卒前教育において学生が外傷治療の基本を学び、プラクティスを経験すれば、県内外で外傷救急医療を志す若手医師が増加し、日本の外傷救急医療水準の底上げができると考えられます。

図2

Acute Care Surgery 講座、
高度外傷センターの設置により
安全・安心な島根県を目指します。



診療科の取り組み

Access

膠原病内科

外 来 TEL 0853-20-2381
病 棟 TEL 0853-20-2485
医 局 TEL 0853-20-2198
FAX 0853-20-2194
URL <http://muw.shimane-u-internal3.jp>

関節リウマチの治療 Treat to Target (T2T)と病診連携

むらかわ ようこ
膠原病内科 診療科長 村川 洋子

医学生時代、“慢性関節リウマチ”という病名で習い、ピラミッド方式の治療：年余の単位でNSAID→金製剤、D-ペニシラミン等の抗リウマチ薬→ステロイド薬→免疫抑制薬へと治療を強化していく治療法で試験勉強をされた先生方も多いと思います。そして、患者さんの関節の変形は進行し、10年以上経過すると、杖、車椅子、ベッド上の生活をするに至っていました。

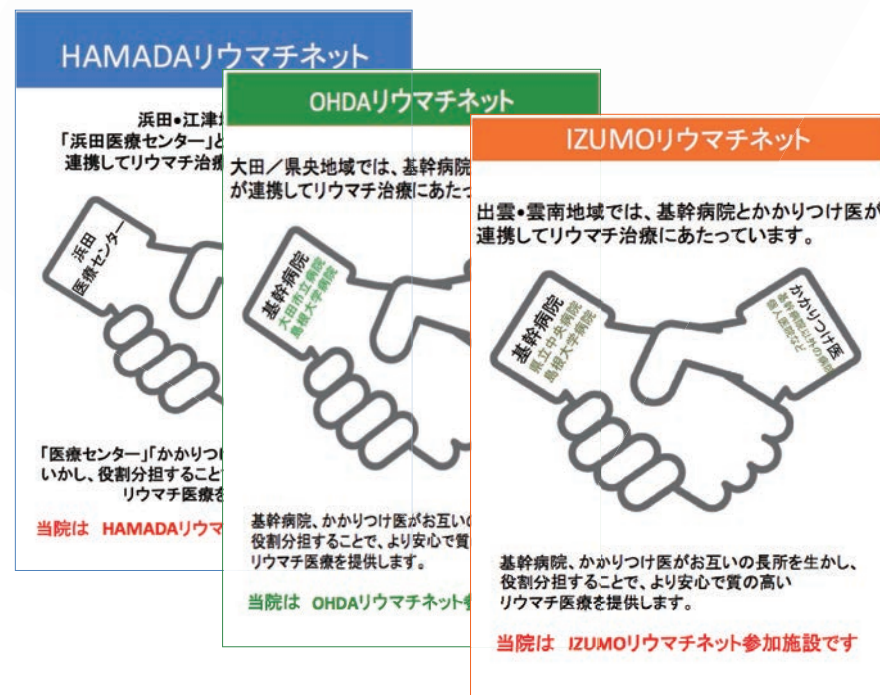
しかしながら、病初期の骨破壊の進行が早く、生命予後も心筋梗塞や悪性リンパ腫と同等と分かると、病名から“慢性”が外れ“関節リウマチ”となりました。1999年にMTX、2003

年に生物学的製剤が登場し、早期に、より強い治療が導入されると、関節リウマチは寛解を導くことができ、進行をストップすることができる疾患に変わりました。T2Tというのは、治療の目標を寛解(やむをえない場合は低疾患活動性)とし、目標達成まで、3ヶ月ごとに治療を見直ししながら強化し、達成した目標を維持していく治療指針です。T2Tの治療で、身体機能を維持し、健常人と同じ社会生活が営めるようになりました。その分、感染症等の合併症に注意が必要となり、専門医の治療介入が要求されるようになっていきます。

専門医の少ない島根県においても県全域の患者さんに、リウマチの最善の治療を!という思いから、当科では当院やスタッフの外勤先の各地域で、“リウマチネット”と称する病診連携システムで、地域の先生方と連携してリウマチ治療に当たる取り組みを行っています。患者さんに連携のためのノートを持って各医療機関を受診していただき、治療に当たらせていただくとともに定期的な会合を開いています。また、年2回の患者さんと家族のための関節リウマチ勉強会も次回は8回目となります。

地域の先生方と共に、より多くの患者さんに、東京のど真ん中の専門病院に負けない治療を提供してまいります。

問合せ先 内科外来 TEL 0853-20-2381



近藤正宏医師デザイン リウマチネットロゴ



島大病院ニュース
2015年9月

お知らせ

病院内「市民ギャラリー」開設



オープン記念式典の様子

8月7日（金）、当院B病棟1階の渡り廊下に、市民ギャラリーを開設し、あわせて、オープン記念式典を行いました。

市民ギャラリーは、市民の皆様が作成された絵画や写真の発表の場として設置するもので、病院内に温かみがあり、心地よい空間となるよう市民の皆様と一体となった院内環境の改善を目的としています。

今回は、開設記念展示として、国内外で活躍されている切り絵作家の陶山広之様の作品を展示しましたが、足を止めて作品を見る方の姿を多く見かけました。

今後は、市民の皆様から広く絵画や写真の作品を募集いたします。

詳細につきましては、当院のホームページ (<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>) に掲載しておりますので、ご覧ください。

この取り組みを通じて、今後、一層地域に根ざした病院となるよう努めて参りますので、引き続き、当院に対するご支援をよろしくお願いいたします。

申込・問合せ先

総務課企画調査係 TEL：0853-20-2019

お知らせ

島大病院ニュース

平成27年9月発行

編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会

問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当

TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





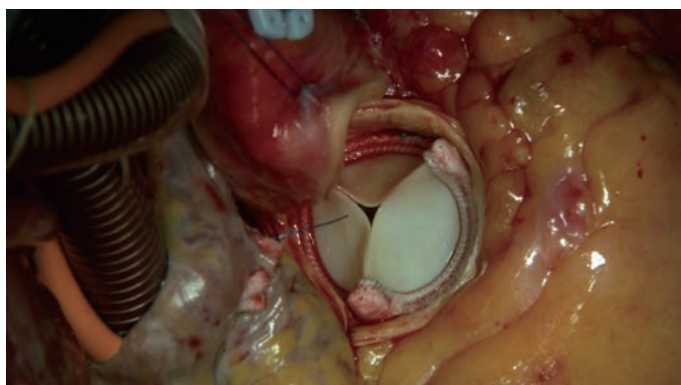
島大病院ニュース
2015年9月

お知らせ

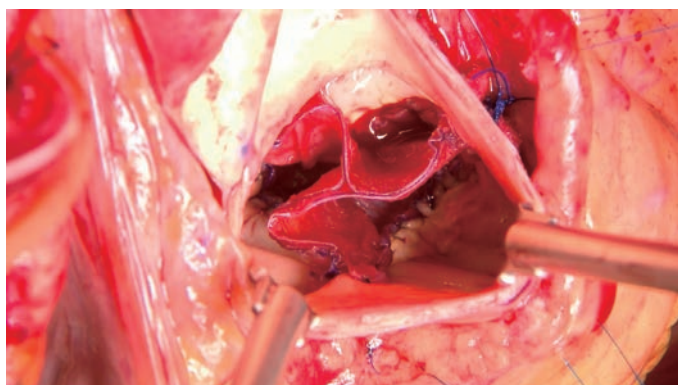
大動脈弁疾患に対する 新しい外科治療に成功

心臓血管外科 診療科長 おだ ていじ
織田 禎二

心臓病の中で、大動脈弁の病気（心臓の拍動に合わせて開閉する心臓出口の弁の機能障害）は人口の高齢化により急増しています。外科治療が必要になる重症例もこの10年間で倍増していることが学会の調査から判明しています。手術法は傷んだ弁を取り除いて新しい人工弁（ブタ・ウシ生体弁、機械弁）を植え込む（置換術）しかありませんでしたが、10年ほど前に日本の心臓外科医が全く新しい方法を開発しました。それは患者さん自身の心膜（心臓を包んでいる膜）を用いて患者さんのサイズに合わせて3枚の弁を作成し、弁輪に縫い付けて大動脈弁を新しく作り出す方法です。今回、当院でもこの手術の第1例目を開発者の尾崎先生（東邦大学教授）に指導を受けて実施しました。この方法は、動物の組織や金属を植え込むことなく、従来の人工弁よりも優れた弁機能を実現しますので、多くの患者さんにとって素晴らしい朗報となるものです。なお、今回の当院での手術は山陰地域では初めての成功例となります。



生体弁（ウシ心のう膜弁）



自己心膜弁で作成した大動脈弁（尾崎手術）

問合せ先

外科外来 TEL:0853-20-2384
外科医局 TEL:0853-20-2225

ホットライン 心臓血管外科：070-5525-0086

お知らせ

島大病院ニュース

平成27年9月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

